

原発再稼働ストップ 金曜行動 11月6日

◇札幌

核ごみいらない

北海道反原発連合は道庁北門前(札幌市中央区)で385回目の抗議行動をしました。

参加者は、福島ของ苦しみを忘れたかのように再稼働に突き進む菅首相に「資格にクエスチョンマークが付きます」と怒りのスピーチを上げ、「北海道に核のごみを捨てるな」とコールしました。

国と東電の責任を認め、断罪した仙台高裁判決にふれた齋藤耕弁護士。「地下に活断層がある泊原発が安全だと科学的に証明できない」
と断言しました。

日本共産党の畠山和也前衆院議員が駆けつけ、訴えました。



「北海道に核のごみを捨てるな」とコールする人たち―札幌市

◇盛岡

菅政権許さない

「盛岡でもデモし隊☆」は盛岡市で脱原発を求める234回目のデモ行進をしました。

17人が参加し、「原発もろやめない?」と訴える横断幕を掲げ、「放射能汚染水、海に流すな」と元気いっぱいコールしました。

マイクを握った主催者の女性は、温室効果ガス削減を理由にして「菅政権が原発に頼り続けるのは許せない」と強く批判しました。

◇高松

汚染水を流すな

高松市では「原発をなくす香川の会」と有志が四国電力本店前で「伊方原発廃炉」をコール。手作りのプラカードや大漁旗に「トリチウムを海に流すな」などと書かれた紙を貼り、明かりを照らして文字を浮かび上がらせた。

参加者は福島事故の汚染水を海に流すことへの抗議や、全国の原発から出る使用済み核燃料の廃棄処分のだ道筋が見えないことを訴えました。

参加した女性は「再稼働も新設もあり得ない。自公政治を終わらせて、新しい政権で原発ゼロ法案を審議して廃炉にさせよう」と話しました。

◇前橋

再生エネ転換を

前橋市の前橋駅北口で原発をなくす前橋連絡会が404回目のマエキン宣伝を行い、11人が参加しました。

連絡会の大川正治事務局長が、原発も汚染水も管理できないと指摘し、「原発依存政策を転換しよう」と呼びかけました。荒木兼男氏は、いつ地震があってもおかしくない日本に原発をつくるのは誤りだとして「再生可能エネルギーへの転換を」と訴えました。

前橋民主商工会の店橋厚事務局長は「過酷な事故を繰り返さないためには、原発をなくすしかない」と訴えました。

◇水戸

いますぐ廃炉に

水戸市で385回目の「原電いばらき抗議アクション」が取り組まれ、約20人の参加者が日本原子力発電東海第2原発（茨城県東海村）の廃炉を呼びかけました。

参加者はリレートークで「政府は『原子力と再生可能エネルギーのベストミックス』と言うが原発は未来のためには良くない」「原発は一度事故を起こせば破壊の道だ」「フクシマを経験して原発の新增設や再稼働はあってはならない」などと訴えました。

「東海第2の再稼働反対」「老朽原発今すぐ廃炉」とコールしアピールしました。

◇京都

ずっと動かすな

関西電力大飯原発4号機（福井県）が3日に定期検査のために停止し、関電の原発が当面すべて停止することを受け、原発再稼働などに反対する市民らが、関西電力京都支社前（京都市下京区）で「原発止まっただ！ここからずっと動かすなデモ」を行い、80人が参加しました。

毎週金曜日に関電京都支社前で抗議行動を行う「キンカン行動」参加者ら27人の市民がよびかけたもの。

デモに参加した日本共産党の井坂博文京都市議団長は「このまま再稼働するべきではないと、大株主として京都市がものを言うべきだ。市の姿勢を今後も問うていきたい」と語りました。



デモ行進する参加者ら
＝京都市下京区

◇奈良

原発頼らぬ社会

毎週金曜日の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前でありました。411回目です。

コール担当の白川史恵さんが、現在稼働中の原発は、関西電力ではゼロで、全国でも1基だけだと報告し「今こそ原発に頼らない社会にしましょう」と訴えました。参加者18人が、「原発いらない」「再稼働反対」とコールし、関西電力奈良支社前までデモ行進しました。

◇名古屋

名古屋市東区の中部電力本店前での金曜行動は、2012年の開始から400回目を迎え、70人が参加しました。

参加者がスピーチ。名古屋三菱・朝鮮女子勤労挺身(ていしん)隊訴訟を支援する会の高橋信さん(78)は、「東京の三菱重工前で



400回目を迎えた中部電力本店前の金曜行動。名古屋東区

行動を続け、ついに会社を動かす、交渉の場ができた」と語り、「行動の継続は、会社を動かす。ともにがんばろう」と述べました。野党各党からも参加があり、日本共産党から、長内史子東海比例候補が参加し、連帯あいさつしました。最後はフォーク歌手の神戸郁夫さんのギターに合わせ、「今こそ立ち上がろう」

ギター弾き400回祝う



ギターの弾き語りでアピールする人たち。浜松市中区・JR浜松駅前

◇浜松

浜松市中区でJR浜松駅前では、金曜アクション@浜松「さよなら原発の夕べ」が400回を迎え、20人余が参加しました。参加者は横断幕など持ち、ギターの弾き語りで原発の危険性を訴え、打楽器も鳴らして市民にアピール。「中部電力浜岡原発(御前崎市)の再稼働を許さないよう声をあげよう」「仙台高裁が福島原発事故の責任は国と東京電力にあると認めたのに、宮城県の東北電力女川原発の再稼働なんて許せない」と訴えました。参加した永桶憲一さん(67)は「日本から原発をなくすまで行動を続けるつもりです。原発を推進し、国民の声を大事にしない政権はいらない。政府の要請で停止した浜岡原発を国民

・県民の声で廃炉に追い込んでいきたい」と話しています。

◇山口

上関原発いらぬ

172回目の「さようなら原発アクション in YAMAGUCHI」が山口市であり、市民15人が参加しました。9年前の東日本大震災と東京電力福島第1原発の事故以降、月1、2回行われ、今回で172回目となります。

山口市の中心商店街の百貨店・井筒屋前に集まり、中国電力山口支店前まで進行。中国電力前でリレートークし、首相官邸前の抗議行動に連帯して中国電力に向けて「上関に原発はいらない」「原発ゼロの日本をつくろう」「宮城県知事の女川原発再稼働許すな」と唱和しました。

◇鳥取

知事の一存ノ

鳥取県では、鳥取市のJR鳥取駅北口前と米子市の中国電力米子営業所前で取り组まれました。鳥取市では、えねみら・とっとり(エネルギーの未来を考える会) 共同代表の山中幸子さんが、女川原発の再稼働の問題について、県民の過半数が反対する再稼働を、知事の一存で決めることは許されないと批判。被災原発で初めての新規制基準「合格」だが、被災で傷んだ原発が、再び大地震に耐えられる保証はないと述べ、稼働させずに廃炉にするよう求めました。

また、中国電力は島根原発の安全対策などに5500億円を費やし、さらに防波壁の補強に500億円をかけようとしているとして、高コストで危険なだけ原発はやめて再エネ普及に真剣に取り組むべきだと強調しました。



コールや歌で原発ゼロを訴える参加者―秋田市

◇秋田

女川を動かすな

秋田県の「さよなら原発県民アクション」は秋田市中通かいわいで、418回目のデモ行進に16人が参加しました。

福島事故の収束も被災者への完全賠償も切り捨て、中身を示さず温暖化対策などと強弁。ウンとごまかし、すり替えて原発推進に固執する菅政権を批判。「未解決問題だらけ。住民・国民の声、安全無視の再稼働強行は許さない。宮城県知事は『同意』撤回を。東北電力は女川動かすな。国・東電は最後まで責任を果たせ」と訴えました。

◇盛岡

政権を代えよう

「盛岡でもデモし隊☆」

は、盛岡市で脱原発を迫る2355回目のデモ行進に取り組み、16人が参加しました。

新型コロナウイルスの感染が市内でも急拡大。大声でのコールはせず、マイクを持った人たちがスピーチしました。

参加した70代の女性は、宮城県知事による女川原発再稼働の同意表明に抗議。再稼働へ圧力をかけたといわれる国に対して、「菅首相が廃炉を願う住民の声を聞かず、原発推進に固執するのなら、政権を代えるしかない」と語っていました。

◇奈良

参加者広げよう

毎週金曜の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前でありました。413回目です。

コール担当の小幡尚代さんが、「菅首相が所信表明で原子力政策を進めると明言し、九州電力は川内原発1号機に続き2号機も再開すると表明。東北電力女川原発は宮城県知事が再稼働に同意しました」と報告し、「私たち原発デモの役割は大きい」と訴えました。15人の参加者は、同駅から関西電力奈良支社前まで

◇高知

自然エネ推進を

原発をなくし自然エネルギーを推進する高知県民連絡会は、高知市の県庁前で宣伝し自然エネルギーへの転換を求めました。また、22日に中央公園で開く「まもろう平和なくそう原発」と題する集会を案内しました。

参加者は「福島原発事故故にまだに苦しんでいる人がいるのに、再稼働を進めるのは許せない」「原発をやめて自然エネルギーに転換するべきだ」「自然エネルギーは地域循環型経済をつくることできる」「安心、安全のエネルギーを次の世代に手渡そう」などと訴えました。信号待ちをしながら宣伝を聞いた女性(70)は「原発には反対です。自然エネルギーで生活していけると思う」と話しました。

金曜行動11月27日

◇秋田

「女川」断念せよ

秋田県の「さよなら原発県民アクション」は秋田市中通かいわいで419回目のデモ行進。厳冬の足音迫る寒さのなか18人が参加しました。今も多くの困難を



「女川再稼働やめよ。住民・県民の声を聞け」と訴える参加者―秋田市

余儀なくされている被災地につけだ」「フクシマの事故が起きてもおなほ、原発をべん推進・再稼働固執の菅政権を強く批判。「福島原発と同様に重大な被災を受けた女川原発の安全を保障するものは何一つない。東北電力は再稼働断念せよ。国・宮城県知事は住民・県民の声を聞け」とコールや歌で訴えました。

◇水戸

「東海」廃炉訴え

水戸市の日本原電茨城事務所前で27日、388回目の「原電いばらき抗議アクション」が取り組まれ、約20人の参加者が東海第2原発(茨城県東海村)の廃炉を呼びかけました。

参加者はリレートークで「原電は住民説明会をやっているが説明ではなく押し



東海第2原発の廃炉に向けリレートークする参加者(正面)―水戸市

原発再稼働ストップ



◇奈良 良

老朽稼働やめよ

414回目の「脱原発奈良でも行動」が、奈良市のJR奈良駅前であり、17人が参加しました。

コール担当者が、関電高浜原発1、2号機の再稼働を福井県高浜町議会が同意したことについて「老朽原発では全国で初めて」と述べ、「再稼働反対の声をあげましょう」と訴えました。

参加者は学習塾前では一時コールを停止するなど、徳島市の横山良さん(75)

◇徳島 島

脱原発で脱炭素

「原発再稼働反対！ 徳島有志の会」は、JR徳島駅前で431回目の行動。「子どもを守ろう、いのちを守ろう」「原発はいらない」などの横断幕やプラスターを掲げてスタンディングしました。

「菅首相は2050年までの温室効果ガス排出実質ゼロを掲げたが、これを口実に原発の新設まで狙っている」と批判。「原発は核のゴミという負の遺産を子孫に押しつける。脱炭素社会は脱原発社会でなければならぬ」と力を込めました。

同市の尾華優博さん(70)は、「福島第1原発の事故からまもなく10年。いまだに炉心内部の詳細すらわからない。事故を防ぐ唯一の道は原発をなくすことだ」と訴えました。



デモ行進する参加者＝奈良市



スタンディングで脱原発をアピールする人々＝徳島市